

2024年1月28日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第66巻第43号(通算3375号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

かみさまがすべてのひととともにおられる  
ことを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

[kyuho-church@koinonia.or.jp](mailto:kyuho-church@koinonia.or.jp)

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が  
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

かわちちくゆうしきょうかいかうだんこうかんれいはい  
**河内地区有志教会講壇交換礼拝**

こうたんせつ だい しゅじつれいはい  
**降誕節 第5主日礼拝**

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう ちよさくけんしやうめつ  
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しょう せつ  
招きの詞 イザヤ書 45章 22節

さんびか ばん たかかみ きやうだんさんびかいいんかい  
賛美歌 21-37番「いと高き神に」(©教団讚美歌委員会)

せいしよ しょん と てがみ しょう せつ  
聖書 フィリピの信徒への手紙 2章 1-11節

いの  
お祈り

さんびか ばん つみかみこ せつ  
賛美歌 21-277番「罪なき神の子」(©JASRAC)

メッセージ 「低きに降る神」 (住道一粒教会) 武久盾 牧師

さんびか ばん まねこた せつ  
賛美歌 21-448番「お招きに应えました」(©JASRAC)

しゅいの ばんてん わたしちち きやうだんさんびかかいていいんかい  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの  
献げ物 (\*)

はけん ばんかみめぐ う せつ  
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく すみのどうひとつぶきやうかい たけひさじゅんぼくし  
祝福 (住道一粒教会) 武久盾 牧師

こうそう ばん きやうだんさんびかいいんかい  
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこく ページ さんしやう  
報告 (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 <sup>まね</sup> <sup>ことば</sup> イザヤ書 45章 22節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

地の果てのすべての者よ

私を<sup>あお</sup>仰ぎ、救われよ。

私は神、ほかにはいない。

聖書 フィリピの信徒への手紙 2章 1-11節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>1</sup>そこで、幾らかでも、キリストによる励まし、愛の<sup>なぐさ</sup>慰め、霊の交わり、<sup>あわ</sup>憐れみや慈<sup>いつく</sup>しみの心があるなら、<sup>2</sup>同じ思いとなり、同じ愛を<sup>いだ</sup>抱き、心を合わせ、思いを一つにして、私の喜びを満たしてください。<sup>3</sup>何事も利己心や虚栄心からするのではなく、へりくだって、互いに相手を自分よりも優れた者と考えなさい。<sup>4</sup>めいめい、自分のことだけではなく、他人のことにも注意を払いなさい。<sup>5</sup>互いにこのことを心がけなさい。それはキリスト・イエスにも見られるものです。

<sup>6</sup>キリストは

神の形でありながら

神と等しくあることに固執しようとは思わず

<sup>7</sup>かえって自分を無にして

<sup>しもべ</sup>僕の形をとり

人間と同じ者になりました。

人間の姿で現れ

<sup>8</sup>へりくだって、死に至るまで

それも十字架の死に至るまで

従順でした。

<sup>9</sup>このため、神はキリストを高く上げ

あらゆる名にまさる名を

お与えになりました。

<sup>10</sup>それは、イエスの<sup>みな</sup>御名によって

天上のもの、地上のもの、地下のものすべてが

<sup>ひざ</sup>膝をかがめ

<sup>11</sup>すべての舌が

「イエス・キリストは主である」と告白して

父なる神が<sup>あが</sup>崇められるためです。



## 《先週のメッセージより》1月21日 降誕節第4主日礼拝

「水がめに水をなみなみと」より

水谷憲牧師

聖書 ヨハネによる福音書 2章 1-11節

ガリラヤのナザレから北に約20キロほど離れたカナという地で、婚礼が行われていた。聖書は、イエスはその婚宴の裏で、水がめの水をぶどう酒に変える奇跡の話を伝えている。婚礼という祝いの席で、ぶどう酒が足りなくなってしまった。母マリアがイエスに「もうぶどう酒がありません」と相談したところ、イエスは「女よ、私とどんなかかわりがあるのです」。私はこの冷たく聞こえる言葉に、逆にイエスの人間臭さを感じる。今日の婚礼に集まった人々は、イエスの言葉を求めて集まったわけではなかったために、奇跡の安売りをすることにイエスが嫌悪感を抱いたのではなかったか。「私は飲み物を出すために父なる神から遣わされたのではない。私の時はまだ来ていない！」私にはイエスのこのような一本気な気持ちこそが、この活動初期のイエスの、キリストとして世に迎合してはいけなさと自分自身にプレッシャーをかけてしまう人間臭さであり、未熟さでもあったように思える。めっちゃ肩に力が入っている。

しかし、イエスはそのすぐ後に、水がめの水をすべてぶどう酒にかえてしまう。750mlのワインボトルだと800本分。さっき「私とどんなかかわりがあるのです」とか言っていたのに。イエスは、ぶどう酒など私には関係ないと冷たいことを言ってしまったものの、この婚礼に集った人々の様子や、裏で走り回っている人々の様子を見ているうちに、考えを改めさせられたのかも知れない。自分がこれから伝えていこうとする福音とは、様々な人々とあらゆることを分かち合っていく中で、初めて伝わっていくものなのではないのかと。

イエスは召し使いたちに「水がめに水をいっぱい入れなさい」と言った。イエスはこのカナの婚礼にて「喜ぶ人とともに喜ぶ」という福音を、身をもって、しるしをもって初めて証した。きっとイエス自身も、自らの福音ののべ伝え方について、新たに学ばされた出来事だったのではないか。そして、口だけでなく身をもって福音を証するイエスだからこそ、多くの弟子たちが彼を信じ、彼に従っていったのだろう。「言葉は肉となって、私たちの間に宿られた」とはまさにこのこと。私たちも、喜ぶ人とともに喜ぶキリストに倣って、「水がめに水をいっぱい入れなさい」と呼びかける人、それに応えて水がめに水をなみなみと注ぐ人になりたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 1月21日 降誕節第4主日礼拝

礼拝出席 大人7名 献金 大人6,000円 中継視聴者数18回 感謝

昨日1月27日に、釜ヶ崎・いこい食堂を応援している大浦農園にて、玉ねぎの苗つけの緑農ボランティアがありました。参加者は、いこい食堂から来られた方々を含めて、大人 人、子ども 人でした。どうもありがとうございました。

◎次週 2024年2月4日(日) 降誕節第6主日礼拝

招きの詞 詩編 32編 5節

聖書 ヨハネによる福音書 5章 1-18節

説教 「知らない人に癒されて」 牛田匡牧師

賛美歌 446番(©JASRAC)、452番(©JASRAC)、454(©教団讃美歌委員会)

礼拝後に、2月期の教会を考える会を行う予定です。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝は河内地区有志教会の「講壇交換礼拝」として、住道一粒教会(大東市)の武久盾牧師が来られました。どうもありがとうございました。久宝教会からは牛田牧師が小阪教会(東大阪市)に行きます。

礼拝後の午後、14時~16時半にかけて、住道一粒教会を会場として、河内地区有志教会女性会が開催されます。テーマは「カルト宗教・マインドコントロールについて」で、旧統一教会からの脱会者の方のお話を伺います。女性に限らず、ご関心のある方はどなたでもご参加頂くことが可能です。

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。
- ・大阪・京都・兵庫3教区の共同開催で「大阪・関西万博を考える——排除・環境・歴史」という連続講座が開催されます。第1回は本日15時から17時に、京都・室町教会にて講師のいちむらみさこさんより「感動ビジネスと生活破壊」という題でお話を伺います。会場での対面参加だけでなく、ZOOMでのオンライン視聴も可能です。ZOOMでのオンライン視聴参加をご希望の方は、下記のQRコードよりお申込みください。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
2/4	牛田匡牧師	教会を考える会
2/11	鈴木貴博牧師 (大阪大道教会)	関西労伝デイ講壇交換礼拝 (水谷牧師が大阪大道教会へ)
2/18	牛田匡牧師	おにぎり支援
2/25	水谷憲牧師	誕生者祝福式

大阪・関西万博を考える

「排除・環境・歴史」

—メカイベントはもういない—

いま大阪では、2025年開催予定の「大阪・関西万博」に向けて、インフラ整備や再開発が急ピッチで進められています。しかし、その過程で行われているのは、強制排除であり、自然破壊です。そして、2019年4月の釜ヶ崎のあいりん総合センターの強制閉鎖は万博・カジノを見据えて行われ、120年前に大阪で開催された万国勲業博覧会のさいに行われた下層労働者の排除の歴史を繰り返すものです。

大阪・関西万博のテーマは「いのち輝く未来社会のデザイン」ですが、いま行われているこれらのことはそのテーマに真っ向から反するものであり、命の輝きを奪い、破壊するものにほかなりません。

京都教区「教会と社会」特設委員会、兵庫教区社会部、大阪教区社会委員会はこのような大阪・関西万博に反対し、万博をめぐるこれらのことを学ぶための連続講演会を開催します。この連続講演会をおして、命を傷つけ奪う万博に反対する声が届き、神の創られた世界と命が回復されるように願っています。

第1回

「排除」講師 いちむらみさこさん

感動ビジネスと生活破壊——OLYMPICS KILL THE POOR

日時：2024年1月28日(日) 午後3時~5時

会場：日本基督教団 室町教会

第2回

「環境」講師 村澤真保呂さん

「SDGs万博」の欺瞞を暴く——自然と人間の新たな転換に向けて

日時：2024年2月25日(日) 午後3時~5時

会場：日本基督教団 宝塚教会

第3回

「歴史」講師 原口剛さん

虐げられた者たちの声を聴け——大阪・関西の博覧会史を振り返る

日時：2024年3月20日(水・休) 午後3時~5時

会場：日本基督教団 東梅田教会

お申込み

講演会はZOOMでも配信します。ZOOMからの参加をご希望の方は、QRコードでGoogleフォームからお申し込みください。家財教会漢野第一牧師までE-Mailにてお申し込みください。

E-Mail : asano\_kenichi@muromachi-church.org



日本基督教団京都教区「教会と社会」特設委員会、日本基督教団兵庫教区社会部、日本基督教団大阪教区社会委員会